



ことしば



8月号

【学校教育目標】 「挑戦し、未来を拓く『琴芝っ子』の育成」

成長とおもいやり



校長 藤本 満士



毎朝1年生の児童は、教室の前のアサガオに水をあげています。それにこたえるように、きれいなアサガオが毎朝たくさん咲いています。2年生はポップコーン用のトウモロコシとスイカ、ミニトマトと野菜をたくさん植えています。4年生の教室のベランダに植えたゴーヤもだいぶ蔓が伸びて、「緑のカーテン」が着々と広がっています。子どもたちは、毎日植物の様子を見て、成長を楽しみにしているようです。そんな中、女の子がベランダのゴーヤにたくさん水をあげようと思い、じょうろいっぱい水に汲んで運んでいました。しかし、じょうろの水が教室にしたり、点々とあとをつくっていました。その様子を見て、近くにいた男の子がさっと乾いた雑巾を持って拭き始めました。すてきな姿だなと思いついてみると、いつもあたりまえのようにやっているということを知りました。ちょっとした気づきや行動力を持つ子どもたちに、本当の優しさとおもいやりを見たように思いました。

昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策のため1学期の諸行事も縮小せざるを得ませんでした。中でも参観日、家庭訪問、1年生を迎える会、運動会とやり方を工夫しながら行うことができました。残念ですが、社会見学や水泳は2学期に実施するようになりました。そんな中、琴芝小学校の子どもたちは、毎日元気にあいさつをしたり、一人1台タブレット端末を使って学習に取り組んだり、元気いっぱい外で遊んだり一人ひとり素晴らしい成長を見せてくれました。

明日から夏休みが始まります。1学期に培った力を家庭や地域でもしっかり伸ばして、たくましく育った子どもたちに2学期に会えることを楽しみにしています。



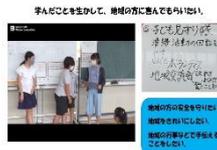
第1回学校運営協議会～琴芝の未来について考えよう～

6月28日(月)琴芝小学校の地域交流室で第1回学校運営協議会が開かれました。本来ならば4月当初に行うはずでしたが、新型コロナの為に延期が続き、やっと行うことができました。最初に井上会長さんのご挨拶があり、「コロナ禍で諸行事が行えない事情があるなか、子どもたちの願いや思いをしっかりと組んで、学校教育を支えていきましょう。」という励ましの言葉をいただきました。その後、ミニ熟議：6年生授業「琴芝の未来について考えよう」～今、私たちにできること～を行いました。最初に浅原教頭より6月初旬に行った授業の説明がありました。次に、ワークシートを使い、子どもたちと同じように琴芝の未来について考え記入しました。続いて、子どもたちの授業の様子をスライドとビデオで視聴しました。その後、子どもたちの考えや願いを元に委員の方々より相互に意見を述べていただきました。

- ・子どもの提案した「子ども見守り隊」のアイデアはおもしろい。
- ・ゴミ捨てやあいさつ等の啓発ポスター等により、子どもが地域に呼びかけることより子ども視点からの地域への関わりができる。(地域がより意識するようになる)
- ・地域活動に子どもが参加するには、保護者の参加も不可欠なため、保護者への呼びかけがまず必要。
- ・中学生とのあいさつ運動等、先輩といっしょに活動することに子どもたちはあこがれている。代表だけでなく、高学年児童のどの子も体験させてほしい。
- ・児童が地域コミュニティにどのように関わっていけるのか、いっしょに話し合いができるといい。
- ・地域の問題は地域作りのヒントであり、子ども発信の諸課題解決のための話し合いや活動は「できなかったことができる」という自己有用感につながる。

等、さまざまな建設的なご意見を伺うことができました。

その後の協議で、琴芝小学校の1学期の子どもたちの様子をお伝えするとともに、学校運営協議会を通して地域の皆さんと共に子どもたちを育てていくための話し合いができました。最後に教育委員会の増野先生から、「児童生徒の参画ができていて、これをゴールでなくスタートにしてほしい」と次の学校運営協議会に向けての方向性を示していただき、会を閉じることができました。爽やかな学校運営協議会になったと思います。ありがとうございました。



校長室の窓から



昇降口に移動図書館あおそら号がやってきました。1年生から順番に割り当てられた時間に本を借りに行っていました。子どもたちは、楽しそうな本、興味ある本、物語・・・といろいろな本を選んでいました。廊下ですれ違うときに大事そうに本を抱えている子を見て、きっと早く読みたい気持ちがいっぱいなのだろうなと思いました。



また、琴芝小学校では、「読書山のほり」という活動をしています。1学期に1番多く読んだ児童は60冊も読んだようです。また、30冊を達成した児童からの本の紹介を図書館だよりに掲載しています。夏休みは、読書する絶好の機会です。自分の好きな本、心に残る本にたくさん巡り会えるといいですね。

